



北海道文教大学

No.

28

後援会会報

CONTENTS

- 後援会会長あいさつ1
- 後援会活動報告2
- 後援会活動報告3
- 内定者の声、就職戦線4

発行日

令和4年10月21日

発行責任者

山本 和男

発行係

恵庭市黄金中央5丁目169番地の1
北海道文教大学後援会事務局
(学生生活支援課内)
TEL 0123-34-0011

「令和4年度 後援会活動リスタート元年」

北海道文教大学後援会 会長 山本 和男



北海道文教大学後援会会員の皆さま、はじめまして。本年度の総会におきまして、後援会会長にご承認をいただきました。新ひだか町の山本和男と申します。

会員の皆さまには、平素より北海道文教大学後援会の活動に対してご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。当後援会は「建学の精神に則り、会員相互の協力によって本学を後援し、その発展充実に寄与することを目的」（会則第一条）として、①学生生活向上の為の援助、②課外活動に対する援助③大学祭や学生生活報告会の開催協力・助成、会報の発行、在学生・保護者との連携等、④学位記授与式記念品助成・卒業祝賀会実施協力、会員相互の親睦、福利厚生に関する援助など様々な事業を実施しております。

とは言え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は私たちの生活へ様々な形で大きな変化をもたらしました。令和2年度、令和3年度は学生も通学や対面授業をはじめ通常の学事そのものへの影響が大きく、同様に当後援会の活動にも大きな制約を受けました。

令和4年度はウィズコロナの新たな段階への移行も徐々に進み、行動制限等の緩和が進んでいることから、当後援会の活動も今年度をコロナ過からのリスタート元年とし、万全の感染予防対策を講じながら従前の各種事業のほか、ウィズコロナへ対応した新たな事業展開を進めてまいります。

今年度、新たに取組ませていただいた主な事業として、鶴岡学園創立80周年記念事業として学生の皆さんが課外活動等を行う際の移動用大型バスとワゴン車の購入助成や、新入生を対象に学校生活が始まり、生活環境の変化による不安の解消や仲間作りを進めるために必要不可欠な新入生宿泊研修がコロナ過により中止を余儀なくされたため、その代替えとして恵庭市えこりん村で実施するSDGs研修への助成を実施しております。

これからも北海道文教大学後援会は社会状況の変化を的確にとらえ、積極的な学びの姿勢、柔軟な行動力、人を思いやる気持ちは携えて本学から世界に向けて羽ばたく学生の皆さんを全力で応援します。会員の皆さまには、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。会報発行のご挨拶とさせていただきます。

鶴岡学園創立80周年記念事業としてバスを寄贈

令和4年6月8日に北海道文教大学を運営する鶴岡学園が創立80周年を迎えるにあたり、後援会より学園創立80周年記念事業として「周年記念事業等積立費」よりバス及びワゴン車を寄贈させていただきました。

学生の課外活動や大学のイベント等を支援する目的とし、バス導入により今まで以上に北海道文教大学が活性化することを願っております。



卒業式の思い出に花を添えました

コロナの影響で「学位記授与式」が全学科合同で開催できない状況の中、後援会では卒業の思い出の1ページに残してもらいたいと「フラワーウォール」を大学に寄贈しました。

3種類のフラワーウォールの前で学友や恩師と笑顔で記念写真を撮る光景が見られ、今後も入学式や学位記授与式で思い出の“花”をプレゼントしていきたいと思います。



新入生全員でSDGs研修！

例年実施している「新入生宿泊研修」はコロナのため中止となり、その代替として恵庭市のある『エコロジーターマガーデンえこりん村』にて、新入生全員を対象に総合教養講座「SDGs研修」を実施しました。後援会では、その予算を「SDGs研修」に振り替え、キャンパスライフのスタートを支援しました。

来年度以降も毎年実施予定のため、後援会も引き続き支援していきます。



朝ごはん、毎日食べていますか？

コロナの影響で中止されていた「100円朝食」が、6月より再開されました。1日100食限定とし、12月まで100日間実施予定です。

後援会では、「食育」の一環として栄養満点のあたたかい朝ごはんを日替わりで提供し、がんばる学生を健康面から応援しています。特に自炊している一人暮らしの学生に利用していただきたいので、保護者の皆様からも利用を呼びかけていただければ幸いです。

メニューは北海道文教大学学生生活支援課ツイッターで紹介していますので、是非ご覧ください。



硬式野球部、春季3部リーグ優勝！

北海道文教大学硬式野球部は、総監督・樋越勉氏、監督・高橋葉一氏の二人の名将を迎え、1部リーグ昇格、そして大学日本一を目指し、新しい歴史をスタートさせました。春季の3部リーグ戦で優勝しましたが、2部リーグ昇格は果たせませんでした。リベンジで挑んだ秋季の3部リーグ戦で見事優勝し、2部リーグ昇格への挑戦権を獲得しました。2部リーグへの入替戦は10月に行われるため、結果は大学HPでご報告いたします。

硬式野球の選手の皆さん、優勝おめでとうございます。後援会はこれからも学生の課外活動を支援していきます。後援会では、各サークルの課外活動に対し「学生文化・体育団体助成費」により活動を支援しています。



女子IH日本代表 志賀紅音選手の祝賀報告会を開催

2022年2月の北京オリンピック女子アイスホッケー日本代表として活躍した、人間科学部健康栄養学科4年志賀紅音選手の栄誉を称えるため、「祝賀・報告会」が3月22日に北海道文教大学にて行われ、学友や教職員から志賀選手に祝福の言葉が送られました。

来賓として後援会を代表して山本後援会会長が出席し、志賀選手に「4年後に向けた今後の活躍を後援会としても期待しています」と、お祝いメッセージが送られました。



オリンピックメモリアルショーケースを寄贈

オリンピック女子アイスホッケー日本代表として活躍した本学学生や卒業生から寄贈されたサイン色紙や記念皿を展示するガラスショーケースを、後援会から大学に寄贈しました。現在、本館1階ロビーに展示しています。

本学出身のオリンピック

【女子アイスホッケー】

健康栄養学科4年

国際言語学科6期卒

健康栄養学科8期卒

志賀紅音 選手

高 涼風 選手

米山知奈 選手



内定者の声

～私の就活体験～

VOICE
2

本田 那菜さん

人間科学部健康栄養学科

就活開始時期：2年次の3月

受験社数：30社

内定獲得社数：5社

キューピー(株)



2年次の3月から企業研究とSPI対策を始め、3年次の7月に初めて就職課を訪ねました。インターンシップ情報を教えていただいたことをきっかけに、それからは毎日、スタッフの方に履歴書添削や面接練習、相談にのっていただきました。

就活は、早くからの準備だけでなく細やかな指導を頂くことも必要で、以後は書類選考で落とされることがなくなりました。そして、自分の想いを限られた字数で伝える難しさを学びました。徹底した企業研究とキャリアプランを念頭に就職活動が続け、面接前には「笑顔で話すことができれば大丈夫」とお声がけいただき、落ち着いて自分らしさを表現することができました。

人生の岐路であり、自身の努力が必須な就活ですが、いつでも相談できる場所があることで、自信をもって挑戦することができました。

VOICE
1

工藤 有紗さん

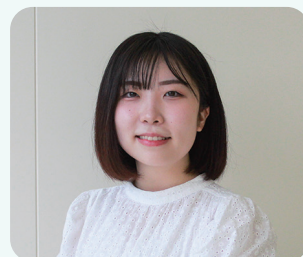
外国語学部国際言語学科

就活開始時期：3年次の8月

受験社数：6社

内定獲得社数：2社

サツドラホールディングス(株)



気になった職種や企業のインターンシップには無理のない程度に参加することをお勧めします。企業によっては参加することで早期選考に進めたり、有益な情報を得られたりというメリットがあります。

2月頃からは就職課にも定期的に訪問しました。私の担当をしてくれた職員さんは穏やかな方で、雑談も交えながら落ち着いて相談することができ、とてもお世話になりました。

そして、この時期に用意しておく便利なものが就活ノートです。主に企業についての情報やスケジュール、自己分析のまとめなどを記入していました。ES作成時や、企業の比較を行う時などにとっても便利です。

就活で心が疲れた時、頑張りすぎた時はしっかり休んでください。メンタルや体調を管理するのも就活を続ける際の大事なポイントです。

就職戦線2022

就職課 課長 田口 晃

～2022年度の就活展望～

2022年度はコロナ禍3年目の就職活動となります。現在も第7波の感染拡大の状況にあります。学内においては感染対策を徹底することで、年度当初から対面授業が行われており、就職課でも対面での面談が増えるなど通常の支援体制に戻りつつあります。

現状では、まだWEB形式での説明会や面接試験を行う企業が大半ですが、少しずつ対面方式を取り入れるケースも増えており、どちらにも対応できるよう臨機応変に学生の支援を行っております。

また、就職課では学生が24時間いつでもアクセス出来る「WEB面談予約システム」を導入し、より相談しやすい環境を整えました。コロナウイルス感染状況はまだまだ油断できませんが、引き続き就職環境を注視して学科教員と連携しながら効果的な学生支援に努めていきます。

【国際言語学科】

長らくコロナ禍での就職活動でしたが、学生もWEB機能を駆使しての新しいスタイルに慣れ、昨年度の就職率は97%を達成できました。今年度は航空観光業界の採用も復調しつつあり、きめ細かい指導で個々の希望に沿えるよう支援していきます。

【健康栄養学科】

2月初旬に開催した給食委託会社WEB説明会から始動し、前半は道内外の食品製造・小売り・ドラッグストア・給食委託企業等から例年以上の内々定を獲得。良い流れを後半の専門職(病院・施設等)への応募につなげます。

【看護学科】

コロナ禍3年目の今年も学生のスタートが速く、WEBによる病院見学や説明会に積極的に参加した結果、8月末までに73名、86%が内定しました。学科教員と連携し、全員が早期に内定できるようフォローしていきます。

【理学療法学科・作業療法学科】

両学科共に8月20日開催の本学主催「WEB就職説明会」が本年度の就職活動のスタートとなり、32病院が参加されました。求人件数は両学科共に増加しており、学生の早期内定に努めていきます。

【こども発達学科】

学生はスケジュール管理に気を配り、実習と就職活動を並行して進めてきました。今年度は学内合同説明会の実施や学外就職イベントの積極的な周知に努め、幼稚園や保育所の情報を効率的に収集し、ミスマッチのない進路決定を目指します。